



Soroptimist International of the Americas Japan Nishi Region

GIRLS SUMMIT 2019

私らしく生きるために ~これからできること 乗り越えること~

益田東高等学校生徒会PR誌
きらめき

益田東高等学校
生徒募集部
NO. 30
R元. 9. 1発行
()は出身中学校名
敬称略

ガールズ・サミット

“論文賞”に輝く!

私を生きる

3年 水津朝花 (中西中学校出身)



祝 2019 国際ソロプチミスト日本西リジョンチンギルス・サミット
中四国大会出場 水津朝花 (中西中学校)

国際ソロプチミストアメリカ日本西リジョンプロジェクトによる「ガールズ・サミット」が、8月19日(月)倉敷アイビースクエアで開催された。中・四国地方から各ブロック代表55名の女子生徒が集い、「私らしく生きるために~これからできること 乗り越えること~」をテーマに意見を述べ合った。まず、自らの強みを見つけ高めることで攻撃力を高め、弱みを見つけることで対処する方法を探り、守備力を強くするなど、今の自分の課題を見つけて分析。そして10年後の自分を創造し、「今起こすべきアクションを明確にすること」を、全員が2分間プレゼンテーションをして、意見発表を終えた。水津は緊張しながらも、自分の思いを堂々と臆することなく述べ、ガールズ・サミット賞に次ぐ、論文賞を受賞した。講演では、チャンスは待つのではなく、自ら作るものであり、突破した先のゴールを想像して、自分の可能性を信じる「Believe in my self. の秘訣」を聞くことができた。この夏、水津はまた少しだけアクションを起こすことができたように思う。



※左から2番目が水津



8月4日(水)~8日(日) 於:沖縄市

陸上インターハイ ジュディ決勝進出!



全国高等学校総合体育大会陸上競技は、沖縄県タピック県総ひやこんスタジアムで開催された。シェイラ・チェロティチは1,500m、ジュディ・ジェブングテッチは3,000mでそれぞれ表彰台に上がることを目標に臨んだ。シェイラは予選落ち、ジュディは決勝まで勝ち進み16位となった。
ケニアは、日本の1.5倍の国土面積を持つが、その半分以上が乾燥した半砂漠地帯。豊かな大自然と野生生物が多く生息しており、ナイロビという近代都市を擁しながらも、伝統的な文化を守り続けている国である。一度も内戦経験がなく、穏やかで平和を愛する国民性がうかがえる。赤道直下とはいえ、1,300~1,500mの高地なため、温暖で過ごしやすい気候。そのせいか、二人はとてみだらかで明るい。そんな環境で育った二人の沖縄入り。150の島からなる沖縄は、熱帯気候で30度を超え、湿度は80%近い。気候も環境も食事も違うなかで、2人は最大限の力を発揮してきた。「よく走って、よく頑張った」と思う。ジュディ…秋の国体は関東の茨城県。京都の都大路も待っている。日本を満喫して楽しむというより、日本を貪欲に駆け巡ってほしい。いろいろなストレスに立ち向かい、迫りくる困難をバネにして羽ばたいてほしい。

令和元年初の 特別教育受講 フォークリフト・クレーン運転業務取得



他にも小型車両系建設機械・アーク溶接
高所作業車などの資格取得実施。



シェイラ 1,500m
ジュディ 3,000m



三瓶高原クロスカントリー
3,000m
1位 シェイラ
2位 ジュディ
8月18日(日)
於:三瓶



茨城国体 出場決定

陸上競技

いきいき茨城ゆめ国体2019 第74回国民体育大会が、10月4日(金)~8日(火)に、ひたちなか市の笠松運動公園陸上競技場で開催される。ジュディは少年女子A3,000mに島根県代表として出場。陸上競技部の国体出場は3年連続となる。「翔べ 羽ばたけ そして未来へ」をテーマに、すべての人々が活気に満ちた、いきいきと活躍できる夢のあるスポーツの祭典を創り上げていく。ケニアから来日して1年半のジュディ。沖縄に続いての茨城で、夢に向かって羽ばたけ。(ひたちなか市は県中央部の海岸線に位置し、魚介類が豊富など。年間の観光客が100万人にもなる関東有数の観光市場を有する。)



